

組付要領書及び部品表

Takakita

Mix V-7

MX1601 用

MX-JBS-2



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本取扱説明書をお読みください。
お読みになった後も大切に保管してください。

株式会社 **タカキタ**

は じ め に

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。

この組付要領書は、**M i xソーワ用J B Sキット**の組付要領について記載しております。

組付前には必ず、この組付要領書をお読みの上、正しく組付けてください。

また、ご使用前にはM i xソーワ本体の取扱説明書を熟知するまでお読みの上、正しくお取扱いいただき最良の状態でご使用ください。

- お読みになったあとも、必ず製品に近接して保存してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、本体の『取扱説明書及び部品表』とこの『組付要領書及び部品表』を製品に添付してお渡してください。
- この組付要領書及び部品表を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げの販売店または弊社にご注文ください。
- 本書は、**注意**として製品自体の損傷防止に関する留意事項を記載しております。
- なお、品質・性能あるいは安全性の向上のため、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明なことやお気付のことがございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

⚠ 警 告 サ イ ン

⚠ 印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、よく読んで必ずお守りください。

⚠ 危険 その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

⚠ 警告 その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

⚠ 注意 その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

⚠ 警告

- トラクタへの本機の装着は平坦で安定した場所で行ってください。
- 3点リンケージへの装着はリンケージの動きに十分注意し、二人以上の共同作業では、お互いに声を掛け合うなどして、安全を確かめ合いながら作業してください。
- ユニバーサルジョイントは、必ずトラクタのエンジンを停止し、P T Oを切ってから確実に取付けてください。

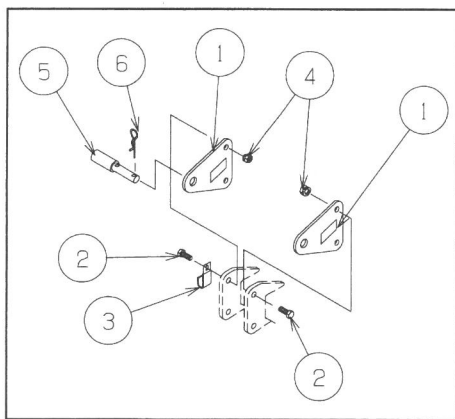
以上のことを守らないと傷害発生の恐れがあります

1. 部品の組付け

◆組付け手順

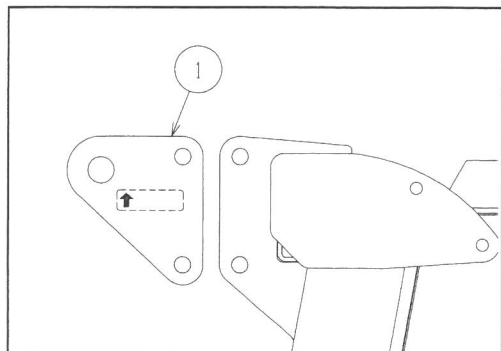
[1] トップリンクブラケット関係の組付け

①トップリンクブラケットを本機フレーム側トップリンク部の内側に本体に付属している②ボルト(M12×35)で③クランプと共に組付け、④スプリングナットM12で固定してください。次に⑤トップリンクピンを差し込み、⑥アールピンで固定してください。



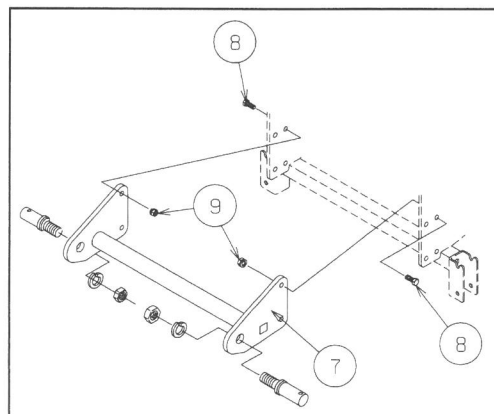
注意

①トップリンクブラケットは下図の様に、矢印が上向きになるように組付けてください。



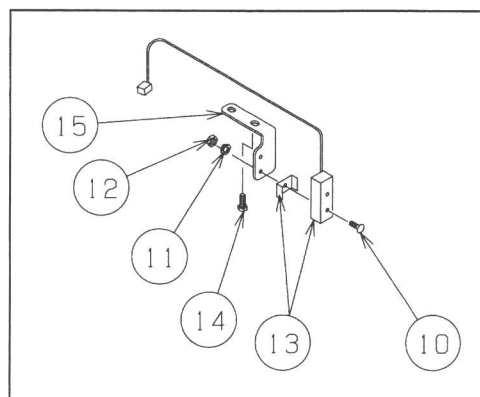
[2] ロワーリンクブラケット関係の組付け

本機フレーム側のローワーリンク部の進行方向後側の穴に⑧ボルト(M12×40(8T))、⑨スプリングナットM12で⑦ローワーリンクブラケットを内側に組付けてください。

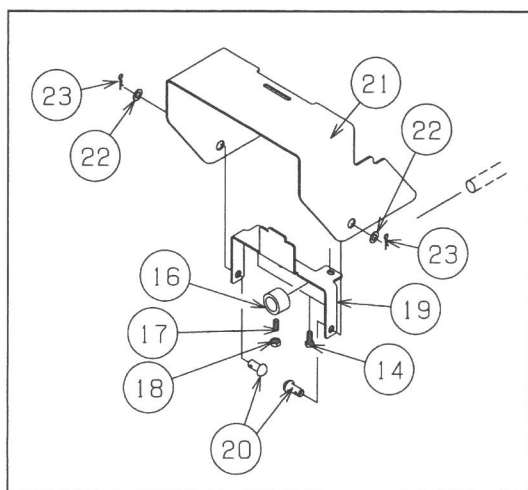


[3] カイテンセンサの組付け

(1) 本体に取付けている⑬キンセツセンサを、⑩ナベコネジ(M3×12)、⑪バネザガネ、⑫ナットM3と共に取外してください。次に⑭ボルト(6×16(SW、PWツキ))を取外し、⑮センサダイを取外します。



- (2) ①⑥カイテンセンサーカラーを①⑦トメネジ(M8×14)で、本機の軸に取付け、①⑧ナット(3種ST)で固定してください。次に、先ほど取外した①④ボルト(6×16(SW、PWツキ))を使用して①⑨センサーベース(JBS)を取付けます。そして、センサーベース内側から①⑩リベットピン(8×13)を差し込み、①⑪PTOカバーを挟み込むように、①⑫ヒラザガネ、①⑬アールピンで取付けます。センサの調整は、本体側の取扱説明書に記載しておりますので、参考にしてください。



[4] スタンドの取付け

次頁の組立完成図のように、リンチピンでスタンドを組付けてください。

[5] マッチング

本機をトラクタとマッチングする前に、PTO軸を手で回し、アジテータがスムーズに回ることを確認してください。

2. 3点リンケージへの装着のしかた

◆ 3点リンケージの装着順序

左のロワーリンク、右のロワーリンク、トップリンクの順序で取付けてください。

◆ トップリンク連結穴位置

トラクタ側のトップリンク連結位置は、トップリンクとロワーリンクが最も平行に近い位置で取付けてください。

◆ トップリンクの長さの調整

トップリンクの長さで本機のトラクタへの装着後の水平状態を調整します。標準作業時で、シャッター部の地上高は約30cmです。

◆ チェックチェーンで横振れ調整

運搬時および作業時、本機の横振れを防止するために、チェックチェーンでトラクタ中心と本機中心が一致するように左右均等に調整固定してください。

3. ユニバーサルジョイントの取付け

◆ ユニバーサルジョイントの取付け順序

本機入力軸に取付けてから、トラクタPTO軸に確実に取付けてください。

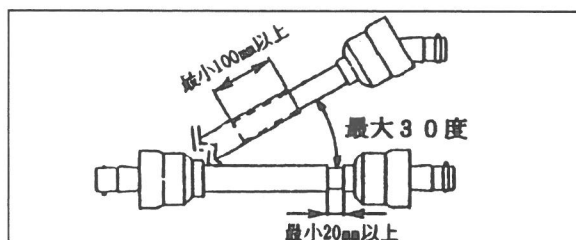
注意

MX1601仕様のユニバーサルジョイントの本機側はジョイントピン方式となっています。本機の入力軸へユニバーサルジョイントをこのジョイントピンで確実に固定してください。

◆ ユニバーサルジョイントの長さ確認

ジョイントの長さは、3点リンケージによる本機の上昇・下降により変化します。ジョイント長さが長すぎないかを確認してください。

長すぎるときは、下図の寸法が確保できるように切断してください。



JBSヒッチの組付け

MX-JBS-2

注意

作業時のジョイント角度は最大30度を超えないよう調整をしてください。30度を超えるとジョイント破損の原因となります。

◆カバー回転止めチェーンで固定

ユニバーサルジョイントのカバーが回転しないように、チェーンに余裕をつけてしっかりと固定してください。

！ 注意

使用前に各部の組付けに誤りがないか、ボルト・ナット等が確実に締付けられているかを必ず確認してください。

注意

- 本機の装着後、トラクタのロワーリンクをゆっくり上げ、最大持ち上げ範囲まで各部が干渉しないことを確認してください。
- トラクタの3点リンクの持ち上げ規制装置で、上昇範囲を制限してご使用ください。

◆組立完成図

《MX-JBS-2》

